

〈H17-4-A : 問題〉

アリダードによるスタジア法において、2点A、B間の距離を測定するためにA点に平板を整置し、B点に鉛直に立てた上下間隔 2mの目標板を視準して表 4-1 の値を得た。2点A、B間の水平距離はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

1. 21.3m
2. 42.6m
3. 62.5m
4. 117.6m
5. 235.0m

表 4-1

上方目標板の読定値	+ 3.2
下方目標板の読定値	-1.5

<H17-4-B : 問題>

次の文は、数値地形測量に関する 4 種類の作業方法について述べたものである。 ~

に入る語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の中から選べ。

- a. トータルステーションなどを用いて により数値データを取得し、数値編集を行って数値地形図を作成する方法で、TS 地形測量と呼ばれる。
- b. 空中写真を用い、 段階から数値データを取得し、数値編集を行って数値地形図を作成する方法で、 と呼ばれる。
- c. 既に作成されている地形図を 、数値地形図を作成する方法で既成図数値化と呼ばれる。
- d. 上記 a ~ c により作成された数値地形図を修正する方法で、数値地形図修正と呼ばれる。

	ア	イ	ウ	エ
1.	図面計測	図化	デジタルマッピング	デジタルタイザなどで数値化し
2.	図面計測	現地調査	ラスタ・ベクタ変換	数値標高モデルと重ね合わせ
3.	現地観測	現地調査	デジタルマッピング	数値標高モデルと重ね合わせ
4.	現地観測	図化	ラスタ・ベクタ変換	数値標高モデルと重ね合わせ
5.	現地観測	図化	デジタルマッピング	デジタルタイザなどで数値化し

<H17-4-C : 問題>

次の文は、標準的な公共測量作業規程に基づいて実施するトータルステーション(以下「TS」という)や、GPS測量機を用いた地形測量について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 平板測量に必要な基準点は、TSやGPS測量機を用いて設置することができる。
2. TSを用いた観測では、視準する目標物との視通が必要である。
3. TSを用いた地形・地物などの水平位置及び標高の測定は、支距法、前方交会法により行い、放射法による測定は行わない。
4. TSを用いた細部測量では、編集に必要な資料及び編集した図形の点検に必要な資料を現地で作成する。
5. TSを用いたオンライン方式による細部測量では、現地で編集をほぼ終了しているため、点検を行って補備測量に該当する項目がないと認められる場合は、補備測量を省略できる。

<H17-4-D : 問題>

次の文は、新しい測量技術を用いた地形測量について述べたものである。[ア] ~ [エ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

電子平板測量とは、トータルステーションと、CADなどの図形処理ソフトウェアを付加した携帯用の [ア] を接続し、現地において地形・地物を [イ] 測定して地形図を描く測量方法である。また、トータルステーションを使うので [ウ] の測定もできる。

電子平板測量では、実際に平板を [エ]、従来の平板測量と同じように、現地で測定から編集までを一貫して行う。

	ア	イ	ウ	エ
1.	小型コンピュータ	直接	高さ	使用しないが
2.	小型コンピュータ	間接	高さ	使用し
3.	小型コンピュータ	間接	属性	使用しないが
4.	GPS	間接	属性	使用し
5.	GPS	直接	高さ	使用しないが